



進 捗 し た 小 松 川 橋 架 設 工 事

東京府が工費約 226 萬圓を投じ新荒川及中川に架設する小松川橋工事は、昭和 9 年 11 月下部工事に着手してから 80 萬圓の巨費と 3 個年の日子を費して昨年 11 月末遂に之を竣成せしめ、續いて鐵部架設工事に移つた。本橋は都市計畫事業に依る放射第 15 號路線の一部で東京市と千葉市とを繋ぐ國道上にあり重要な軍用道路である。概要は次の如し。

橋長及幅員 橋長 500, 90 米 (中川 130. 45 米、新荒川 631. 35 米) 有效幅員 18. 00 米 (車道 11. 50 米、歩道各 3. 25 米) 有效橋面積 11, 501, 42 平方米。

下部構造 橋臺は新荒川、中川とも杭打基

礎扶壁式鐵筋コンクリート造。橋脚は新荒川低水路中に位する 6 脚は楕圓形井筒長約 45 米を基礎とし他は全部杭打基礎、軀體は鐵筋コンクリート造で、頭部及兩端は石材を使用。

上部構造部橋體は新荒川低水路上のみ鋼構肋繫拱橋 (徑間 54 米 × 5 連) とし、同高水敷及中川上は共に鋼桁橋 (徑間 18 米 × 16 連、13. 5 米 × 3 連) である。

床版は鐵筋コンクリート造厚 18 糎、車道及歩道ともトベカ式アスファルト・コンクリートを以て鋪裝する。親柱は花崗石積、高欄は鐵筋コンクリート人造石洗出仕上である。(寫眞は最近の工事狀況である)

